

# 南予地域

## 豊かな農林水産物と癒し空間が人を惹きつける 交流圏域の形成を目指します

### 地域特性

- 南予地域の総面積は約2,523km<sup>2</sup>で、県内の44.5%を占めていますが、その大半を山林が占める典型的な中山間地域となっています。
- 気候は比較的温暖で、四国カルストや日本一細長い佐田岬半島、リアス式海岸の続く宇和海沿岸など、豊かな自然と美しい景観に彩られています。
- 多くの歴史的な文化遺産や史跡が残るとともに、日々の暮らしにおいて伝統的な習俗・文化などが数多く伝承されており、穏やかで情緒あふれる地域を形成しています。
- 産業分野では、日照条件に恵まれた傾斜地における全国一の生産量を誇るかんきつ農業をはじめ、豊かな森林資源を活かした林業やしいたけ栽培、酪農や肉用牛・豚などの畜産業、リアス式海岸の波静かな入江を利用したマダイ、ブリ、真珠、真珠母貝などの養殖業など、多彩な農林水産業が展開されています。



### 地域の課題

- 南予地域の人口は約29万人で県全体の19.8%であり、平成22年国勢調査における人口等基本集計結果では、この5年間の人口減少率が7.0%と県全体の2.5%を大きく上回るとともに、平成23年4月の高齢化率においても32.3%と県平均の26.1%を大きく上回り、人口減少に歯止めがかからず高齢化が進展しています。
- 四国で唯一の原子力発電所の安全対策の強化はもとより、大部分が山地で、まとまった平地が少なく、河口や入江、河川流域に市街地や集落が密集しており、台風や豪雨の自然災害に備えた肱川をはじめとする河川や海岸の治水・高潮対策や、今世紀前半の発生が懸念されている南海地震による津波等への早急な対策が求められています。
- 深刻な医師不足による地域医療の崩壊を防ぐため、保健・医療・福祉が連携した一体的なサービスの提供など、住民が安心して暮らすことのできる環境づくりをはじめ、生活交通の維持確保など過疎地域の振興対策が求められています。
- 販売価格の下落や後継者不足等により、基幹産業である農林水産業が低迷していることに加え、企業の撤退などにより地域経済が疲弊し、雇用環境も悪化しており、各産業の底上げと産業間の連携が強く求められています。
- 地域産業や観光交流の振興、流通の促進などを図るとともに、災害から県民の生活と暮らしを守るためにも、東・中予地域に比べ遅れている高速道路の延伸などの社会基盤の早急な整備が求められています。



宇和島市  
「遊子の段畑」



八幡浜市  
「みかん畑と宇和海」



大洲市  
「おはなはん通り」



西予市  
「開明学校」



内子町  
「内子座」



伊方町  
「佐田岬灯台」



松野町  
「森の国ホテル」



鬼北町  
「成川溪谷休養センター」



愛南町  
「禊山」

## 地域振興の基本方向

## ① 安全・安心な暮らしづくり

## ■伊方原子力発電所に対する安全対策の推進

伊方原子力発電所において緊急事態が発生した場合に、地域住民へ迅速かつ正確な情報が提供されるよう行政と事業者、地域が一体となった情報連絡体制の構築に努め、住民の避難路・避難港の整備や関係市町の避難計画の策定支援を行うとともに、広域における住民の避難・誘導方法の検討や、避難者受入れ体制の整備に努めます。

## ■南海地震等に備えた地域防災力の向上

地域の人命・財産を守るために氾川の河川整備などの治水・土砂災害防止対策の推進に取り組むとともに、南海地震等の大規模災害の発生に備え、緊急輸送道路の整備や孤立集落の発生を抑制するための道路整備、災害に強い港湾の整備、海岸保全施設等の基盤整備を推進します。

また、市町が策定する災害時要援護者避難支援プランにおける個別計画の策定促進、自主防災組織の活動支援により、地域全体の防災力アップに努めます。



避難訓練の様子

## ■地域医療体制の拡充強化

地域医療及び救急医療体制の維持確保を図るため、効率的な医療体制について各種協議会等で、取組方策等の検討を続けるほか、保健・医療・福祉の連携を促進し、切れ目のないケア体制の構築を図るとともに、地域住民に対し適正受診の普及啓発や救急医療の現状及び医療に関する知識の理解促進を図ります。

また、初期救急医療体制の整備や救急医療従事医師の確保に努め、病院等の建替え・新築工事等を支援するなど、医療提供体制の拡充強化を図ります。



南予小児救急医療学習会

## ■高齢者が安心して暮らせ、元気に活躍できる地域社会づくりの推進

3人に1人が高齢者である南予地域において、高齢者が地域でいきいきと生活するための応援体制づくりが重要です。

このため、豊富な経験や知識を有する高齢者が、次世代育成や地域の絆づくりの積極的な支援者として活躍することができる地域づくりに努め、世代を越えた助け合い・支え合いがあふれる地域社会づくりを推進します。

また、高齢者が安心して暮らせるよう関係団体との連携・協力を推進し、介護従事者の資質向上を図るなど、高齢者に対する支援体制の充実に努めます。

## ② 活力ある産業づくり

## ■農家の所得向上と産地の活性化

新規就農者の確保・育成に努め、消費者嗜好や市場ニーズの多様化に適應した有望品種の導入や品種転換を図るとともに、ブランド化や6次産業化による付加価値の高い新たな加工品の創出や販路開拓に取り組む、消費・販売拡大のためのPRを積極的に展開することで、農家の所得向上と産地の活性化を図ります。

## ■鳥獣害防止対策等による地域農業の振興

農業従事者の高齢化や耕作放棄地の増加等に対応するため、農作業の省力化や鳥獣害防止のための施設整備の取組みを総合的に支援し、産地の生産体制の強化を図ります。

## ■地域材の利用促進による林業の振興

南予地域に豊富なヒノキなどの森林資源を活かし、林業経営の基盤づくりを進めるとともに、地域材の利用を促進することにより、森林の整備から木材の生産、加工、流通までを総合的に推進します。

## ■もうかる漁業の確立等による水産業の振興

漁業の担い手育成に積極的に取り組むとともに、適正なマグロ養殖やマハタ・クエ等の新しい養殖魚種の開発・実用化、愛媛真珠のブランド確立や真珠母貝の生産体制強化に取り組むほか、新たな流通販売体制づくりや海外輸出の促進等により、もうかる漁業を確立し、地域の水産業の振興に努めます。



マハタの脂肪含有量を測定する技術の開発

## ■産学官連携等による農林水産業の活性化

これまで素材にとどまっていた優れた県産品を発掘し、産学官連携拠点である愛媛大学南予水産研究センターや植物工場南レクアグリパーク等において、効率的な生産技術の実用化を図り、食の安全・安心意識の高まりなど、多様な消費者ニーズに対応した新たな加工商品の開発や高付加価値化、新たな魅力を持った商品のブランド化により、地域の農林水産業の活性化に努めます。

## ■企業の誘致・留置対策の推進

行政・民間関係者が連携して企業に関する情報の共有化に努め、企業立地に係る課題の洗い出しや解決策の検討を行うとともに、立地環境の整備・充実に努めることにより、地域の雇用創出につながる企業誘致を推進します。

また、訪問活動等を通じて既存企業との密接な情報交換を図り、企業の要望・意見へのきめ細かな対応により、地域外への流出を防止する留置対策に努めます。

## ③ 訪れたいまちづくり

## ■「えひめ南予いやし博2012」開催を契機とした交流人口の増加

高速道路の宇和島延伸を契機として、「えひめ南予いやし博2012」をはじめとする各種イベントの開催や、南レク公園など余暇施設の充実等により、観光資源の魅力強化に努めるとともに、これまで守り育ててきた美しい町並みや豊かな自然あふれる生活環境など、癒しの空間としての南予の魅力や、県・市町・関係団体が連携して、強力に絶え間なく発信し、南予への人の流れをつくり、交流人口の増加と南予地域への移住・定住の促進に努めます。



## ■市町の広域連携など地域連携の強化

スケールメリットを活かし南予の9市町が一体となって取り組む広域連携事業について支援を行うとともに、産直施設等のネットワーク化を図り、地域に点在している特産品等の情報の集約に努めるなど、各施設共同のイベントや産品販売等を通じて、南予地域が一体となって情報発信に取り組みます。

## ④ 地域を支える基盤づくり

## ■高速道路及び生活道路網の整備促進

地域産業や観光交流の振興、地域医療体制整備の基盤となり、災害時の緊急輸送道路及び避難路として重要な役割を持つ高速道路（津島道路（仮称））や地域高規格道路（大洲・八幡浜自動車道）等の幹線道路網、地域住民の暮らしに不可欠な生活道路網など、交通ネットワークの形成に努めます。



大洲・八幡浜自動車道の八幡浜IC完成イメージ

## ■生産基盤の整備促進と港湾の機能強化

愛媛の食糧供給基地である南予の農林水産業を支える生産基盤の整備促進と物流基盤の拠点としての港湾の機能強化に努めます。

## ■生活交通の維持確保と利用促進

地域住民の日常生活における足を確保し、すべての人々が安全に安心して過ごせる、快適な地域社会を実現するための生活バス路線や離島航路及びJR予土線など地域の鉄道路線の維持確保と利用促進を図ります。